

いま ホツとな植物をさ



チャノキ *Camellia sinensis*

記念行事 野点及び手揉み製茶実演
平成9年10月12日(日)・10月19日(日) 午前、午後

茶室でのお茶会
平成9年11月9日(日)・11月16日(日) 午前、午後

おいしい飲物講座
煎茶…平成9年10月5日(日) 午後2時から
珈琲…平成9年11月2日(日) 午後2時から
紅茶…平成9年11月24日(月) 午後2時から

コーヒーの果実 *Coffea arabica*

茶と珈琲の博物誌

Tea and Coffee! The World of Beverage Plants

次回企画展 朱鷺・今私たちが問われる時代
—レッドリストの動物たち—
1998年4月18日(土)～6月14日(日)

●開館時間 午前9時30分～午後5時
〔入館は午後4時30分まで〕

●休館日 毎週月曜日
〔但し、11月3日(月)と11月24日(月)は開館〕
〔11月4日(火)と11月25日(火)は休館〕

●入館料
大人 710円 (570円)
高・大学生 430円 (290円)
小・中学生 140円 (70円)

※()内は20名以上の団体料金です。
※この料金には、常設展・野外施設入場料が含まれています。
※11月13日は、茨城県民の日で、入館無料となります。



ミュージアムパーク
茨城県自然博物館

〒306-06 茨城県岩井市大崎700番地 TEL0297-38-2000
ハローダイヤル いばらき 029-226-8600 #8886 (プッシュ回線)

茶と珈琲の博物誌

いま ホツとな植物たち

私たち人類は、茶とコーヒーというすばらしい飲み物を自然の中から見いだしました。これらの飲み物は、私たちに活力を与え、気分転換の手助けをしてくれる重要なパートナーです。そういう意味でこの両者は、きわめて身近な存在であり、ともに植物を材料にして作られていることも良く知られているところです。

しかし、その材料であるチャノキやコーヒーノキについてはもちろん、茶とコーヒーそのものについてさえも、分からないことやまだ一般には知られていないことが多く興味をそそられます。そこで、今回の企画展では茶とコーヒーについて以下のような切り口で展示しています。

1. チャノキ、コーヒーノキとはどのような植物なのか。その分類学的な位置づけや生態的特徴、原産地や人との出会い、伝播の経路などをわかりやすく紹介します。
2. 茶はチャノキの若葉や若芽から、コーヒーはコーヒーノキの種子から作られますが、どのような製造過程を経て飲める状態になるのかを、実際の製造器具を含めて展示します。
3. 茶とコーヒーの主な成分について、その結晶を実際に展示します。また、それらの香りについても実際に体験していただきます。
4. 茶及びコーヒーと人のかかわりについて、茶道文化やコーヒーを抽出する器具の変遷などについて展示します。

以上の展示を通じて、日頃何気なく飲んでいる茶やコーヒーについて、少しずつ疑問を解きあかし、これらのホツとな植物たちと人とのつきあいのあり方をさぐっていききたいと思います。



茶畑（茨城県大子町）第4回いばらき自然環境フォトコンテスト入賞作品



コーヒー農園（ブラジル・パラナ州）©UCCコーヒー博物館



ベネイラを使つての選別作業

主な展示

○茶・珈琲の植物学

- ・茶畑ジオラマ
- ・コーヒー園ジオラマ
- ・紅茶園ジオラマ

○茶・珈琲のできるまで

- ・手揉み製茶の道具
- ・お茶のいろいろ
- ・コーヒーの焙煎過程

○茶・珈琲の成分と効用

- ・カフェインの結晶
- ・カテキンの結晶
- ・茶・コーヒーの香りの体験

○茶・珈琲の歴史と文化

- ・茶室
- ・珈琲の抽出器具



- 車利用の場合 常盤自動車道谷和原ICから20分。
●鉄道・バス利用の場合
JR柏駅で東武野田線乗り換え、東武野田線安房駅～茨城急行バス「若井車庫行き」又は「若井西高行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩10分。



トルコ式コーヒーの道具（中央はイブリック）



手揉み製茶